問題別調査結果　［国語］

松山市教育委員会－児童

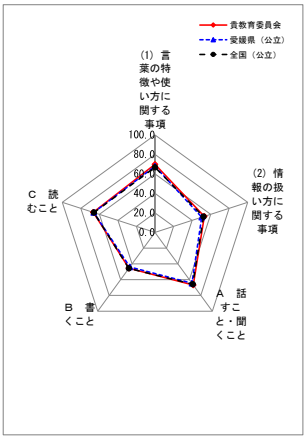
・以下の集計値／グラフは、４月２３日に実施した調査の結果を集計した値である。

集計結果

対象児童数	松山市教育委員会	愛媛県（公立）	全国（公立）
	3,950	9,618	922,411

分類		区分	対象問題数（問）	平均正答率(%) 貴教育委員会	愛媛県（公立）	全国（公立）
全体			13	62	60	60.9
学習指導要領の内容	知識及び技能	(1) 言葉の特徴や使い方に関する事項	4	69.8	67.8	66.8
		(2) 情報の扱い方に関する事項	2	53.2	50.4	52.3
		(3) 我が国の言語文化に関する事項	0			
	思考力、判断力、表現力等	A　話すこと・聞くこと	3	66.8	64.5	65.8
		B　書くこと	2	45.5	43.8	45.7
		C　読むこと	2	66.6	66.1	65.9
評価の観点		知識・技能	6	64.2	62.0	62.0
		思考・判断・表現	7	60.6	59.0	60.1
		主体的に学習に取り組む態度	0			
問題形式		選択式	9	62.9	60.5	61.9
		短答式	2	66.4	64.7	62.6
		記述式	2	55.7	55.7	54.9

＜学習指導要領の内容の平均正答率の状況＞



問題別集計結果

問題番号	問題の概要	出題の趣旨	学習指導要領の内容 知識及び技能 (1) 言葉の特徴や使い方に関する事項	(2) 情報の扱い方に関する事項	(3) 我が国の言語文化に関する事項	思考力、判断力、表現力等 A 話すこと・聞くこと	B 書くこと	C 読むこと	評価の観点 知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度	問題形式 選択式	短答式	記述式	正答率(%) 松山市教育委員会	愛媛県（公立）	全国（公立）	無解答率(%) 松山市教育委員会	愛媛県（公立）	全国（公立）	全国との差 正答率（プラスが良い）	無答率（マイナスが良い）
１－	【構成メモ】の工夫として適切なものを選択する	相手に伝わるように、理由や事例などを挙げながら、話の中心が明確になるよう話の構成を考えることができるかどうかをみる				３・４イ				○		○			72.8	71.9	73.9	0.7	0.8	0.8	-1.1	-0.1
１二（１）	【動画の一部】の工夫として適切なものを選択する	資料を活用するなどして、自分の考えが伝わるように表現を工夫することができるかどうかをみる				５・６ウ				○		○			62.6	59.4	60.2	0.7	0.7	0.6	2.4	0.1
１二（２）	【動画の一部】の太線囲みの部分の工夫として適切なものを選択する	資料を活用するなどして、自分の考えが伝わるように表現を工夫することができるかどうかをみる				５・６ウ				○		○			65.1	62.1	63.2	0.8	0.8	0.7	1.9	0.1
１二（３）	〈音声〉の下線部の工夫の効果として適切なものを選択する	比喩や反復などの表現の工夫に気付くことができるかどうかをみる	５・６ク						○			○			70.5	67.4	65.2	1.0	0.9	0.8	5.3	0.2
２一	花山さんの文章の工夫を説明したものとして適切なものを選択する	筋道の通った文章となるように、文章全体の構成や展開を考えることができるかどうかをみる					５・６イ			○		○			58.9	56.0	57.9	1.1	1.0	0.8	1.0	0.3
２二	【花山さんの文章の一部】の下線部①に続く文として適切なものを選択する	考えとそれを支える理由や事例など情報と情報との関係について理解することができるかどうかをみる		３・４ア					○			○			52.7	49.4	48.9	1.5	1.4	1.1	3.8	0.4
２三ア	【花山さんの文章の一部】の下線部アを、漢字を使って書き直す（みじか・い）	学年別漢字配当表に示されている漢字を文の中で正しく使うことができるかどうかをみる	５・６エ						○				○		82.6	81.2	80.0	3.2	3.2	4.1	2.6	-0.9
２三イ	【花山さんの文章の一部】の下線部イを、漢字を使って書き直す（ふしぎ）	学年別漢字配当表に示されている漢字を文の中で正しく使うことができるかどうかをみる	５・６エ						○				○		50.2	48.3	45.2	4.0	3.8	6.6	5.0	-2.6
２四	【花山さんの文章の続き】の空欄に入る内容を、【集めた情報】から抜き出して考えが伝わるように書く	引用して、自分の考えが伝わるように書き表し方を工夫することができるかどうかをみる					５・６エ			○				○	32.1	31.5	33.5	4.2	4.1	5.2	-1.4	-1.0
３一	【文章】の特徴として適切なものを選択する	話や文章の種類とその特徴について理解することができるかどうかをみる	５・６カ						○			○			75.7	74.5	76.7	2.1	2.0	2.2	-1.0	-0.1
３二	傍線部①、②、③について【林さんのメモ】にどのように整理したのかを説明したものとして適切なものを選択する	情報と情報との関係付けの仕方、図などによる語句と語句との関係の表し方を理解し使うことができるかどうかをみる		５・６イ					○			○			53.7	51.5	55.6	2.3	2.3	2.5	-1.9	-0.2
３三（１）	【話し合いの様子の一部】の空欄に入る内容として適切なものを選択する	目的に応じて、必要な情報を見付けることができるかどうかをみる						５・６ウ		○		○			53.8	52.3	55.5	3.0	2.9	3.3	-1.7	-0.3
３三（２）	【文章】を読んで考えたことを、自分の経験と結び付けてまとめて書く	文章を読んで理解したことに基づいて、自分の考えをまとめることができるかどうかをみる						５・６オ		○				○	79.3	79.9	76.4	13.6	12.8	15.6	2.9	-2.0

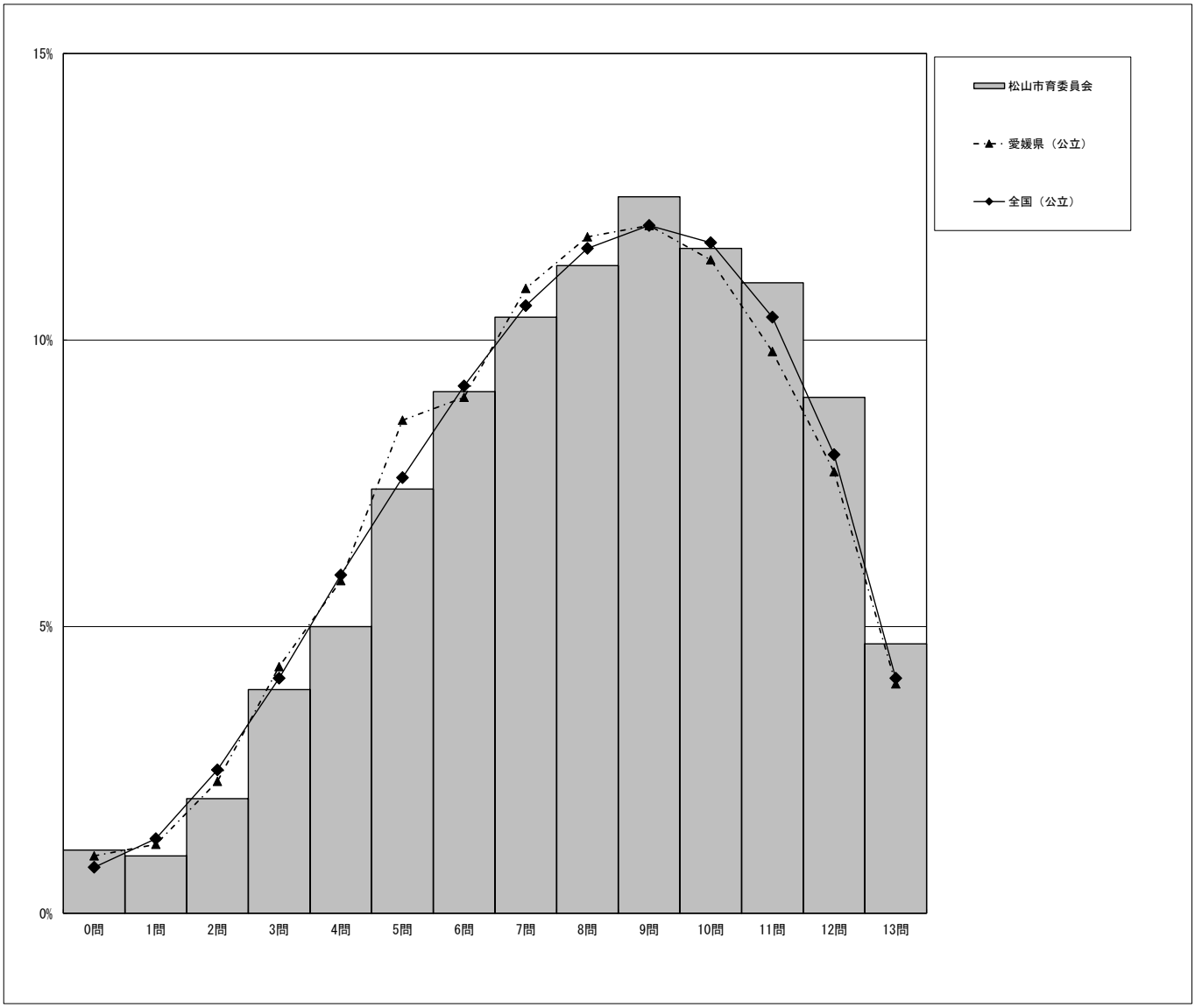
調査結果概況　［国語］

松山市教育委員会ー児童

・以下の集計値／グラフは、４月２３日に実施した調査の結果を、児童を対象として集計した値である。

	児童数	平均正答数	平均正答率（%）	中央値	標準偏差
松山市教育委員会	3,950	8.1 / 13	62	8.0	3.0
愛媛県（公立）	9,618	7.9 / 13	60	8.0	3.0
全国（公立）	922,411	7.9 / 13	60.9	8.0	3.0

正答数分布グラフ（横軸：正答数　縦軸：割合）



問題別調査結果　［算数］

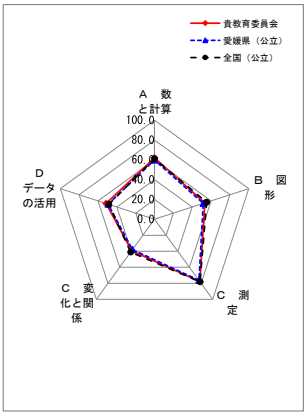
松山市教育委員会－児童

・以下の集計値／グラフは、４月２３日に実施した調査の結果を集計した値である。

集計結果

対象児童数	松山市教育委員会	愛媛県（公立）	全国（公立）
	3,953	9,620	922,778

＜学習指導要領の領域の平均正答率の状況＞



分類	区分	対象問題数（問）	平均正答率(%) 貴教育委員会	愛媛県（公立）	全国（公立）
全体		16	56	55	56.4
学習指導要領の領域	A　数と計算	8	62.0	59.8	61.1
	B　図形	4	53.4	51.7	55.3
	C　測定	1	77.9	76.2	78.1
	C　変化と関係	3	39.3	37.9	41.1
	D　データの活用	4	51.5	49.3	48.6
評価の観点	知識・技能	12	59.3	57.7	60.1
	思考・判断・表現	4	47.7	45.4	45.4
	主体的に学習に取り組む態度	0			
問題形式	選択式	5	55.5	54.0	56.0
	短答式	8	58.1	56.7	59.7
	記述式	3	53.2	50.0	48.5

（注）「学習指導要領の領域」については、一つの問題が複数の区分に該当する場合があるため、各区分の問題数を合計した数は「全体」の問題数とは一致しない。

問題別集計結果

問題番号	問題の概要	出題の趣旨	学習指導要領の領域 A 数と計算	B 図形	C 測定	C 変化と関係	D データの活用	評価の観点 知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度	問題形式 選択式	短答式	記述式	正答率(%) 松山市教育委員会	愛媛県（公立）	全国（公立）	無解答率(%) 松山市教育委員会	愛媛県（公立）	全国（公立）	全国との差 正答率（プラスが良い）	無答率（マイナスが良い）
１（１）	一辺が８ｃｍの立方体の体積を求める式を書く	立方体の体積の計算による求め方について理解しているかどうかをみる		5(4)ア(イ)				○				○		68.2	69.9	72.7	1.2	0.9	1.3	-4.5	-0.1
１（２）	直方体の箱の形の六つの面のうち、四つの面が示されたとき、残りの二つの面の縦と横の長さを書く	直方体の箱の形を構成する面について理解しているかどうかをみる		2(1)ア(ウ) 4(2)ア(ア)				○				○		60.5	58.1	63.0	1.4	1.4	1.7	-2.5	-0.3
１（３）	１立方センチメートルの立方体を３６個使ってできた直方体の体積を書く	体積の意味について理解しているかどうかをみる		5(4)ア(ア)				○				○		35.8	33.0	40.1	3.3	2.9	4.2	-4.3	-0.9
１（４）	四つの箱のまとめ方によって宅配便の送料に違いがあるかを調べるために、直方体イの送料の求め方とその答えを書く	日常生活の問題を解決するために、図形を構成する要素に着目して直方体の三つの辺の長さを捉え、示された条件を基に、調べたい数量の求め方を数や言葉を用いて記述できるかどうかをみる	2(2)ア(ア)	4(2)ア(ア)※			3(1)ア(ア)		○				○	48.9	45.7	45.2	4.3	4.0	5.8	3.7	-1.5
２（１）	７４２９１の百の位の数を四捨五入して、千の位までの概数で表したものを選ぶ	数を四捨五入して、概数で表すことができるかどうかをみる	4(2)ア(イ)					○			○			64.9	64.1	66.5	1.4	1.1	1.0	-1.6	0.4
２（２）	イシガメ１４匹が動物園全体のカメの数の２０%に当たるときの、動物園全体のカメの数を求める式と答えを書く	百分率で表された割合と比較量から、基準量を求めることができるかどうかをみる				5(3)ア(イ)		○				○		52.9	51.3	53.1	5.8	4.8	7.2	-0.2	-1.4
２（３）	ペンギンがいる二つの広場の混み具合を求める式の意味について、正しいものを選ぶ	単位量当たりの大きさを求める除法の式の意味を理解し、その商から二つの広場のどちらの方が混んでいるのかについて判断できるかどうかをみる				5(2)イ(ア)			○		○			31.2	31.6	36.1	1.7	1.3	1.6	-4.9	0.1
２（４）	赤いテープの長さが、白いテープの長さの１．５倍になっている図を二つ選ぶ	基準量、比較量、割合の関係が正しく表されている図を選ぶことができるかどうかをみる	4(4)ア(ア)			5(3)ア(ア)		○			○			33.9	30.8	34.2	1.6	1.2	1.5	-0.3	0.1
３（１）	１、５、９の３枚のカードを当てはめてつくることのできる最も大きい数を書く	小数が整数と同じ十進位取り記数法の仕組みで表されていることを理解し、条件に合う小数をつくることができるかどうかをみる	4(4)ア(イ)					○				○		94.0	93.5	94.5	1.1	0.9	1.0	-0.5	0.1
３（２）	二つの小数のどちらが５に近いかを判断するために、６．３７－５と５－３．７６を計算する	整数と小数の減法の計算をすることができるかどうかをみる	4(4)ア(ウ)					○				○		56.3	55.0	58.1	2.2	1.9	2.2	-1.8	0.0
３（３）	７／３と７／４のどちらの方が大きいかを判断し、そのわけを書く	異分母の分数の大小を判断し、その理由を数や言葉を用いて記述できるかどうかをみる	4(5)ア(ア) イ(ア) 5(4)ア(ア) ア(エ) イ(ア)						○				○	47.3	44.0	44.0	2.9	2.4	3.2	3.3	-0.3
３（４）	５／３を表す目盛りが示された数直線上で、１を表す目盛りを選ぶ	単位分数の個数に着目し、数直線上の１を表す目盛りを捉えることができるかどうかをみる	3(6)ア(ア) ア(イ)					○			○			72.9	69.2	68.1	2.5	2.3	2.7	4.8	-0.2
４（１）	全員分のアンケートが整理されていない学級を見付け、その根拠となる人数を表１と表２の中から書く	示された二つの表から、集計に誤りのある項目を見付け、その根拠を表の中の数と言葉を用いて記述できるかどうかをみる					3(1)ア(ア)※		○				○	63.4	60.3	56.2	3.5	2.9	3.7	7.2	-0.2
４（２）	昔遊びの計画を見て、全体で使える時間の中で、「前半」に使える時間は何分間かを書く	示された情報を基に、数量の関係に着目して、条件に合う時間を求めることができるかどうかをみる	2(2)ア(ア) 3(4)ア(ア)		3(2)ア(イ)			○				○		77.9	76.2	78.1	4.0	3.3	3.4	-0.2	0.6
４（３）	二次元の表から、前半にあやとりに参加する人数と、前半はかるたに参加し、後半はあやとりに参加する人数を書く	二次元の表から、条件に合う数を読み取ることができるかどうかをみる					4(1)ア(ア)	○				○		18.9	16.9	17.9	3.9	3.3	3.9	1.0	0.0
４（４）	帯グラフから、「いっしょに話ができたこと」の割合が約何%かを選ぶ	帯グラフの特徴と用い方を理解し、およその割合を読み取ることができるかどうかをみる					5(1)ア(ア)	○			○			74.8	74.5	74.9	7.9	7.3	6.9	-0.1	1.0

※本設問においては、思考力、判断力、表現力等をみるために用いる知識及び技能を示している。

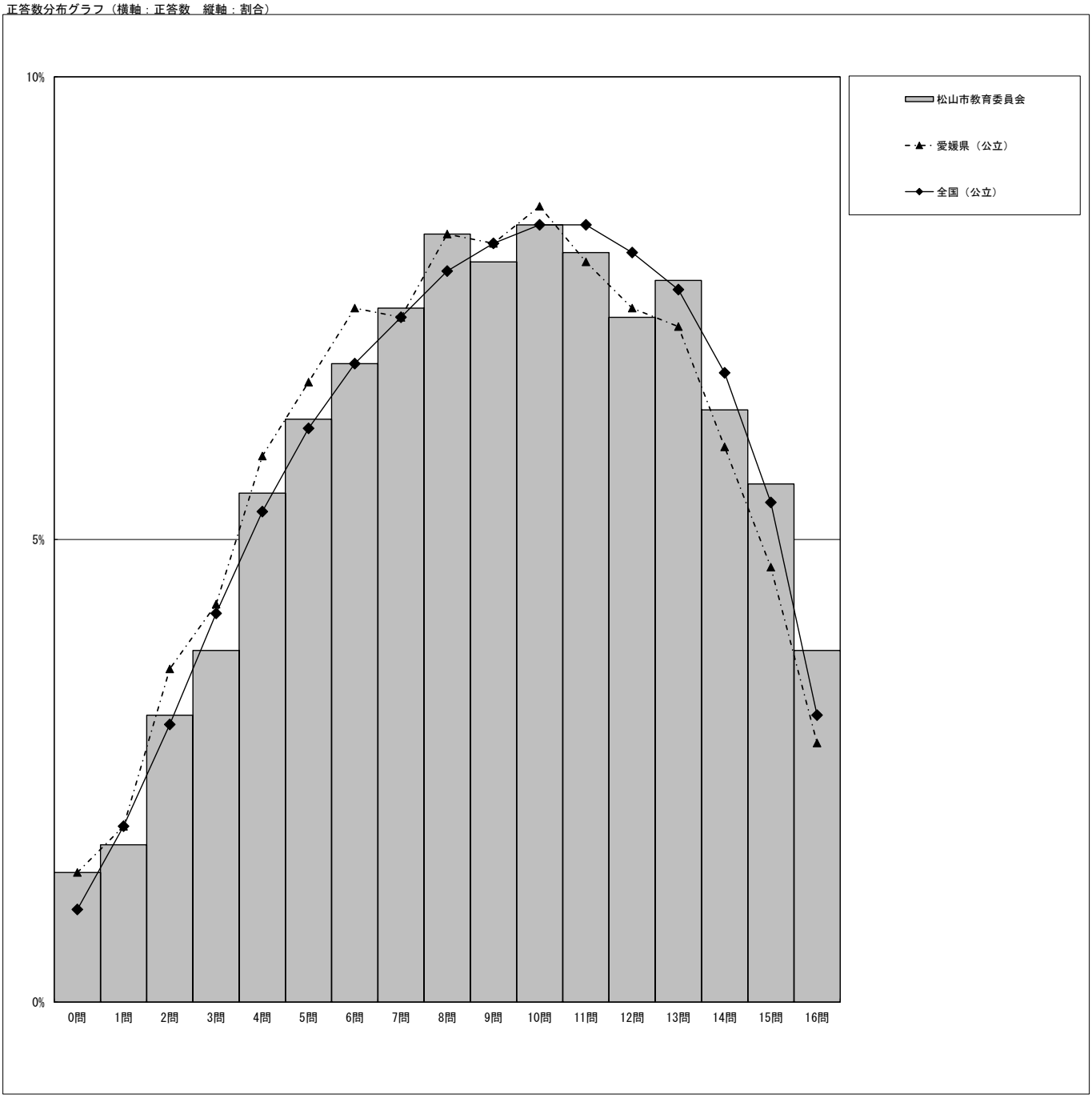
調査結果概況　［算数］

松山市教育委員会ー児童

・以下の集計値／グラフは、４月２３日に実施した調査の結果を、児童を対象として集計した値である。

	児童数	平均正答数	平均正答率（%）	中央値	標準偏差
松山市教育委員会	3,953	9.0 / 16	56	9.0	4.0
愛媛県（公立）	9,620	8.7 / 16	55	9.0	4.0
全国（公立）	922,778	9.0 / 16	56.4	9.0	4.0

正答数分布グラフ（横軸：正答数　縦軸：割合）



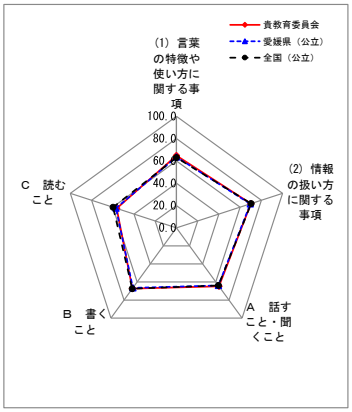
・以下の集計値／グラフは、４月２３日に実施した調査の結果を集計した値である。

集計結果

対象生徒数	松山市教育委員会	愛媛県（公立）	全国（公立）
	3,413	9,494	841,873

分類		区分	対象問題数（問）	平均正答率(%) 貴教育委員会	愛媛県（公立）	全国（公立）
全体			15	64	63	63.9
学習指導要領の内容	知識及び技能	(1) 言葉の特徴や使い方に関する事項	5	64.8	63.5	63.0
		(2) 情報の扱い方に関する事項	1	70.1	69.6	70.4
		(3) 我が国の言語文化に関する事項	0			
	思考力、判断力、表現力等	A　話すこと・聞くこと	3	64.8	63.9	63.9
		B　書くこと	3	67.3	66.5	67.4
		C　読むこと	3	56.3	57.0	59.7
評価の観点		知識・技能	6	65.7	64.5	64.2
		思考・判断・表現	9	62.8	62.4	63.7
		主体的に学習に取り組む態度	0			
問題形式		選択式	9	73.5	72.8	72.7
		短答式	3	57.0	55.9	55.8
		記述式	3	42.2	42.0	45.5

＜学習指導要領の内容の平均正答率の状況＞



問題別集計結果

問題番号	問題の概要	出題の趣旨	学習指導要領の内容 知識及び技能 (1) 言葉の特徴や使い方に関する事項	(2) 情報の扱い方に関する事項	(3) 我が国の言語文化に関する事項	思考力、判断力、表現力等 A 話すこと・聞くこと	B 書くこと	C 読むこと	評価の観点 知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度	問題形式 選択式	短答式	記述式	正答率(%) 松山市教育委員会	愛媛県（公立）	全国（公立）	無解答率(%) 松山市教育委員会	愛媛県（公立）	全国（公立）	全国との差 正答率（プラスが良い）	無答率（マイナスが良い）
１一	「可能の意味」を含んでいるものとして適切なものを選択する	助動詞の働きについて理解しているかどうかをみる	２オ						○			○			85.8	84.8	84.3	0.2	0.1	0.2	1.5	0.0
１二	「投げられる」を説明したものとして適切なものを選択する	単語の類別について理解しているかどうかをみる	１エ						○			○			73.7	72.5	70.2	0.3	0.2	0.3	3.5	0.0
１三	「ら抜き言葉」であるものを選択する	単語の活用について理解しているかどうかをみる	２オ						○			○			86.3	85.4	85.4	0.2	0.1	0.2	0.9	0.0
２一	発言について説明したものとして適切なものを選択する	目的や場面に応じて、集めた材料を整理し、伝え合う内容を検討することができるかどうかをみる				１ア				○		○			69.2	68.5	68.5	0.4	0.3	0.3	0.7	0.1
２二	話合いの中の発言について説明したものとして適切なものを選択する	必要に応じて質問しながら話の内容を捉えることができるかどうかをみる				１エ				○		○			73.9	71.8	70.4	0.3	0.2	0.3	3.5	0.0
２三	話合いを受けて整理したタブレット端末の画面を説明したものとして適切なものを選択する	情報と情報との関係の様々な表し方を理解し使うことができるかどうかをみる		２イ					○			○			70.1	69.6	70.4	0.6	0.4	0.4	−0.3	0.2
２四	話合いを受けてどのような意見を述べるか、自分の考えを書く	互いの立場や考えを尊重しながら話し合い、結論を導くために考えをまとめることができるかどうかをみる				２オ				○				○	51.3	51.3	52.7	17.9	15.9	14.7	−1.4	3.2
３一	文書作成ソフトに表示された意味と用例を参考にして、漢字を書き、漢字の組合せとして適切なものを選択する（とる）	文脈に即して正しく漢字を書き、語句を文章の中で使うことができるかどうかをみる	２ウエ						○				○		44.2	40.8	39.8	0.1	0.1	0.3	4.4	−0.2
３二	気持ちがより伝わるように、表現を工夫して書く	表現の効果を考えて描写することができるかどうかをみる					２ウ			○			○		92.9	93.1	92.3	4.5	4.0	4.8	0.6	−0.3
３三	文章の展開の意図を説明したものとして適切なものを選択する	段落相互の関係を明確にし、文章の展開を工夫することができるかどうかをみる					２イ			○		○			65.4	64.4	65.0	0.5	0.4	0.5	0.4	0.0
３四	書いた文章について、交流を基にして、「この文章のよい点や改善点」と「今後随筆を書くときに生かしたいこと」を書く	表現の工夫とその効果について、読み手からの助言を踏まえ、よい点や改善点を見いだすことができるかどうかをみる					２オ			○				○	43.6	42.0	45.0	10.8	10.8	10.7	−1.4	0.1
４一	文章全体を三つに分けて整理したものとして適切なものを選択する	文章の中心的な部分と付加的な部分について叙述を基に捉えることができるかどうかをみる						１ア		○		○			69.1	70.7	71.6	0.6	0.7	0.7	−2.5	−0.1
４二	国語辞典を参考にして、「ほうふつとさせる」と同じような内容を表す別の表現を文章中から抜き出す	語句の辞書的な意味を踏まえ、文脈上の意味を捉えることができるかどうかをみる	１ウ						○				○		33.7	33.8	35.2	20.4	20.2	19.8	−1.5	0.6
４三	文章中に書かれている、会話の表情を表す擬音語・擬態語の特徴をまとめたものとして適切なものを選択する	目的に応じて必要な情報に着目して要約し、内容を解釈することができるかどうかをみる						１ウ		○		○			67.9	67.5	68.7	1.3	1.2	1.1	−0.8	0.2
４四	二つの例文を比べながら、擬態語「きっぱり」が表している具体的な様子と擬態語の効果を書く	文章を読んで理解したことに基づいて、自分の考えを確かなものにすることができるかどうかをみる						１オ		○				○	31.8	32.7	38.9	22.0	21.1	18.6	−7.1	3.4

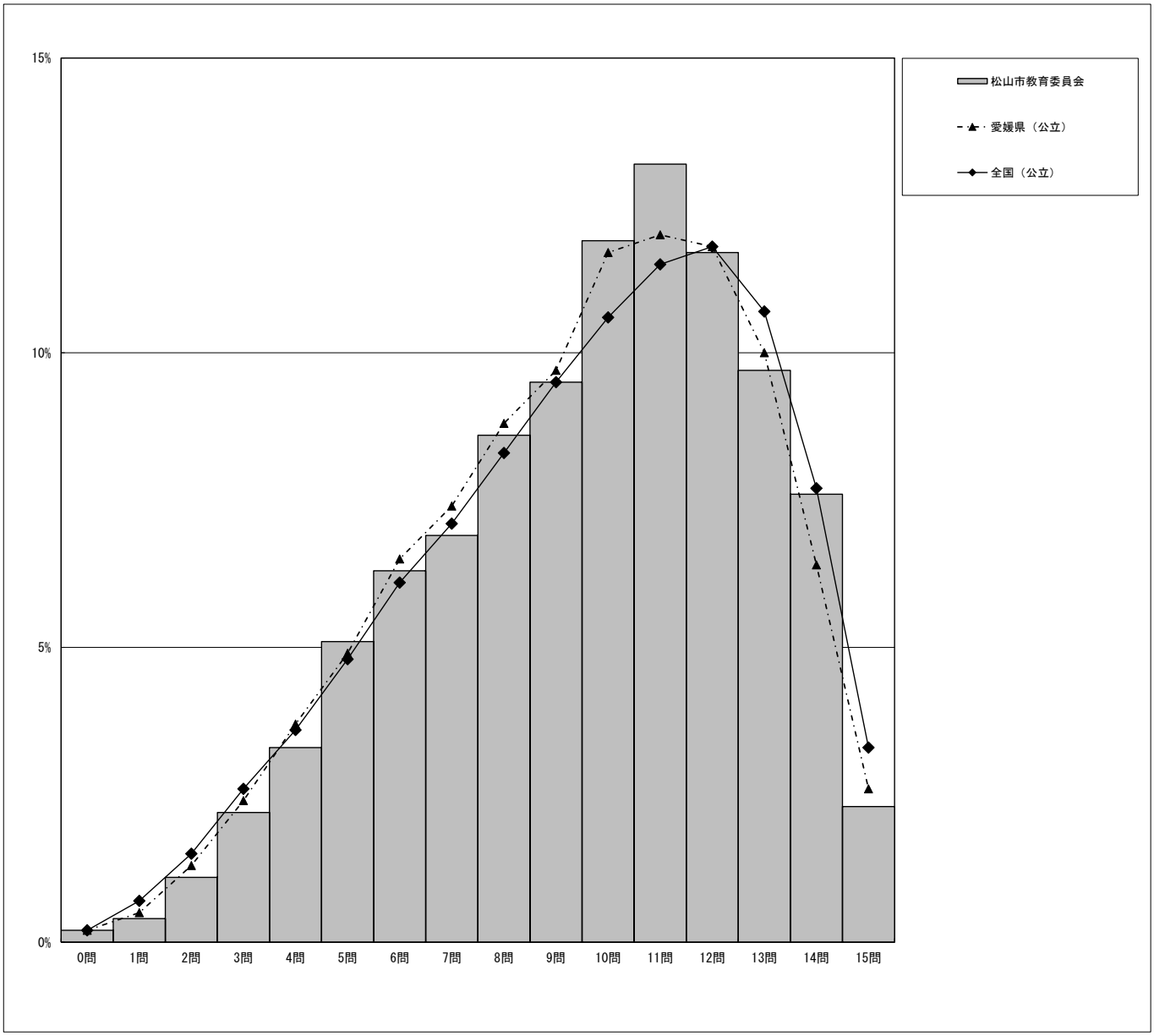
調査結果概況　［国語］

松山市教育委員会－生徒

・以下の集計値／グラフは、４月２３日に実施した調査の結果を、生徒を対象として集計した値である。

	生徒数	平均正答数	平均正答率(%)	中央値	標準偏差
松山市教育委員会	3,413	9.6 / 15	64	10.0	3.2
愛媛県（公立）	9,494	9.5 / 15	63	10.0	3.2
全国（公立）	841,873	9.6 / 15	63.9	10.0	3.3

正答数分布グラフ（横軸：正答数　縦軸：割合）



問題別調査結果　［数学］

松山市教育委員会－生徒

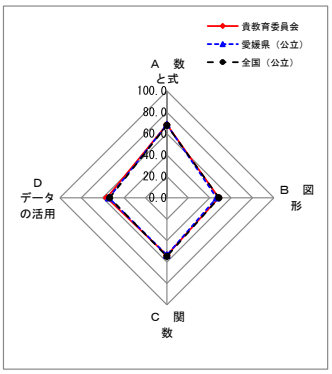
・以下の集計値／グラフは、４月２３日に実施した調査の結果を集計した値である。

集計結果

対象生徒数	松山市教育委員会	愛媛県（公立）	全国（公立）
	3,417	9,503	842,491

分類	区分	対象問題数（問）	平均正答率(%) 貴教育委員会	愛媛県（公立）	全国（公立）
全体		16	58	57	57.0
学習指導要領の領域	A　数と式	5	68.5	68.4	67.8
	B　図形	4	48.5	46.5	48.7
	C　関数	3	53.7	53.5	54.8
	D　データの活用	4	56.1	54.3	53.5
評価の観点	知識・技能	12	64.0	62.9	63.0
	思考・判断・表現	4	38.5	37.9	39.1
	主体的に学習に取り組む態度	0			
問題形式	選択式	3	61.0	60.0	59.3
	短答式	9	65.0	63.8	64.2
	記述式	4	38.5	37.9	39.1

＜学習指導要領の領域の平均正答率の状況＞



問題別集計結果

問題番号	問題の概要	出題の趣旨	学習指導要領の領域 A 数と式	B 図形	C 関数	D データの活用	評価の観点 知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度	問題形式 選択式	短答式	記述式	正答率(%) 松山市教育委員会	愛媛県（公立）	全国（公立）	無解答率(%) 松山市教育委員会	愛媛県（公立）	全国（公立）	全国との差 正答率（プラスが良い）	無答率（マイナスが良い）
1	２月３日のＡ市の最高気温が最低気温より何℃高くなったかを書く	具体的な場面において、正の数と負の数を用いて変化や状況を表すことができるかどうかをみる	1(1)ア(ウ)				○				○		88.1	85.9	85.7	0.4	0.4	0.6	2.4	-0.2
2	７ｘ＋９－５ｘ＋７ｘ＾２＋２ｘ　から、７ｘの同類項をすべて書く	同類項の意味を理解しているかどうかをみる	2(1)ア(ア)				○				○		70.4	71.6	70.5	2.1	1.9	2.2	-0.1	-0.1
3	四角形ＰＱＲＳにおいて、ＰＳ平行ＱＲを示すための根拠となる二つの角を書く	２直線が平行になるための条件を理解しているかどうかをみる		2(1)ア(ア)			○				○		47.1	45.4	49.1	3.5	2.8	2.8	-2.0	0.7
4	反比例の表において、ｘの値が－３のときのｙの値を求める	反比例の関係を表す表の特徴を捉えて、ｘの値に対応するｙの値を求めることができるかどうかをみる			1(1)ア(イ)		○				○		52.4	53.4	55.3	0.7	0.8	1.1	-2.9	-0.4
5	大小二つのさいころを同時に投げるとき、大きいさいころの目が６で小さいさいころの目が１である確率を求める	起こり得る場合を樹形図や二次元の表を利用するなどして整理し、確率を求めることができるかどうかをみる				2(2)ア(イ)	○				○		62.0	60.5	60.2	5.0	4.4	4.8	1.8	0.2
6（１）	選んだ２数が３と６のときについて、陸斗さんの予想が成り立つことを示す式を書く	問題場面における考察の対象を明確に捉えているかどうかをみる	2(1)ア(エ)				○				○		74.8	74.8	73.2	6.6	5.9	6.6	1.6	0.0
6（２）	陸斗さんの予想がいつでも成り立つことを説明するための方針を完成するために、当てはまるものを選ぶ	事柄が成り立つ理由を文字を使って説明するための方針を立てることができるかどうかをみる	2(1)ア(ウ)				○			○			64.1	64.9	65.0	0.6	0.5	0.6	-0.9	0.0
6（３）	手順にしたがってできたＡとＢについて、Ａ－Ｂの値がどんな数になるかを、選んだ２数の差に着目して説明する	統合的・発展的に考え、事柄の特徴を数学的な表現を用いて説明することができるかどうかをみる	2(1)イ(イ)					○				○	45.0	45.0	44.6	27.6	25.6	26.5	0.4	1.1
7（１）	動画の時間とデータ量の関係を表すグラフにおいて、点Ｃの座標を書く	与えられた表やグラフから、必要な情報を適切に読み取ることができるかどうかをみる			1(1)ア(ウ)		○				○		77.7	76.0	75.2	6.2	5.5	5.6	2.5	0.6
7（２）	データ量が１０００ＭＢになるときの動画の時間がおよそ何秒になるかを求める方法を説明する	数学的に表現したことを事象に即して解釈し、問題解決の方法を数学的に説明することができるかどうかをみる			1(1)イ(イ)			○				○	30.9	31.1	33.9	41.6	40.0	39.6	-3.0	2.0
8（１）	∠ＡＯＢの大きさが a° のとき、∠ＰＯＢの大きさを a を用いた式で書く	具体的な事象において、考察の対象となる角を的確に捉えることができるかどうかをみる		1(1)ア(ア)			○				○		62.1	59.8	62.5	9.9	9.6	9.0	-0.4	0.9
8（２）	図１において、ＡＢ＝ＡＰ、ＯＢ＝ＯＰならば∠ＡＯＢ＝∠ＡＯＰであることを、三角形の合同を基にして証明する	筋道を立てて考え、証明することができるかどうかをみる		2(2)イ(イ)				○				○	46.2	43.6	46.1	25.3	25.2	22.2	0.1	3.1
8（３）	図２において、証明する事柄における仮定となる辺や角の関係を選ぶ	具体的な事象を基に、証明する事柄の仮定を見いだすことができるかどうかをみる		2(2)ア(イ)			○			○			38.7	37.2	37.1	1.1	0.9	1.0	1.6	0.1
9（１）	全校生徒の睡眠時間の度数分布表において、最小の階級から６時間以上７時間未満の階級までの累積度数を求める	累積度数の意味を理解しているかどうかをみる				1(1)ア(ア)	○				○		50.2	46.9	46.0	12.9	13.2	14.3	4.2	-1.4
9（２）	学年別の睡眠時間について、学年別睡眠時間の箱ひげ図から読み取れることとして正しいものを選ぶ	箱ひげ図と四分位数の対応について理解しているかどうかをみる				2(1)ア(ア)	○			○			80.3	77.9	75.8	0.7	0.6	0.7	4.5	0.0
9（３）	「就寝時刻が２３時より前の生徒と比べて、２３時以降の生徒の方が睡眠時間が短い傾向にある」と主張できる理由を、悠真さんが調べたことの二つの度数分布多角形の形と位置を比較して説明する	データの傾向を的確に捉え、判断の理由を度数分布多角形の特徴を基に説明することができるかどうかをみる				1(1)イ(ア)		○				○	32.0	31.9	31.9	31.4	30.1	28.9	0.1	2.5

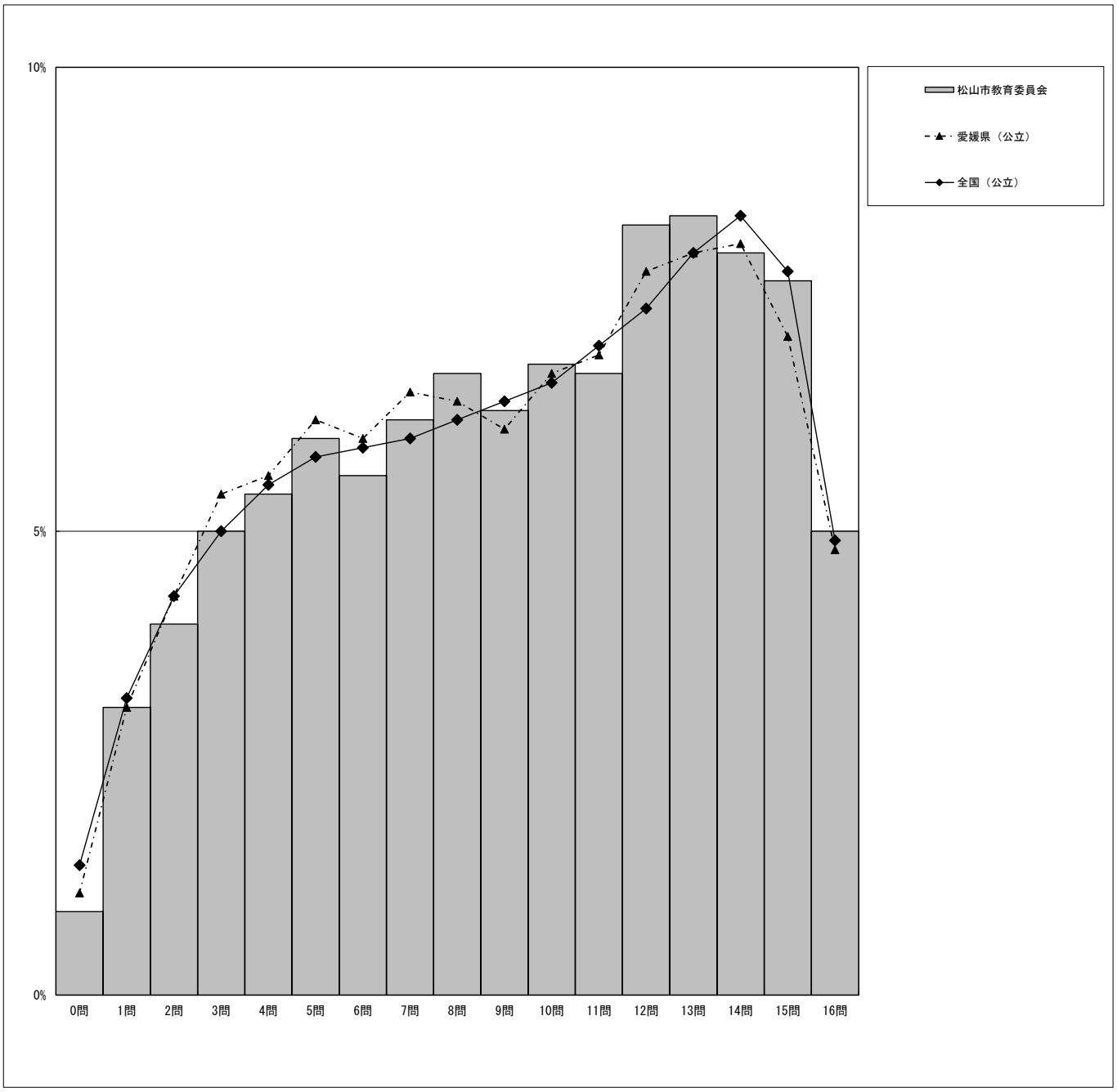
調査結果概況　［数学］

松山市教育委員会－生徒

・以下の集計値／グラフは、４月２３日に実施した調査の結果を、生徒を対象として集計した値である。

	生徒数	平均正答数	平均正答率(%)	中央値	標準偏差
松山市教育委員会	3,417	9.2 / 16	58	10.0	4.4
愛媛県（公立）	9,503	9.1 / 16	57	9.0	4.4
全国（公立）	842,491	9.1 / 16	57.0	10.0	4.5

正答数分布グラフ（横軸：正答数　縦軸：割合）



公開問題別調査結果　［英語３技能］

松山市教育委員会－生徒

・以下の集計値は、４月２０日から４月２４日に実施した調査の結果を集計した値である。
※正答率欄のイタリック（下線付き）の数値は「予測正答率」を表す。ここでの「予測正答率」とは、貴教育委員会で出題されなかった公開問題について、
　全国の解答状況に基づき、貴教育委員会各生徒と同程度の英語３技能で算出したIRTスコアにおいて期待される正答率を指す。
※「予測正答率」や「問題の難易度」を示す対象としない問題については空欄となっている。

問題別集計結果（公開問題）

問題番号	問題の概要	出題の趣旨	学習指導要領の領域 (1)聞くこと	(2)読むこと	(3)話すこと［やり取り］	(4)話すこと［発表］	(5)書くこと	評価の観点 知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度	問題形式 選択式	短答式／口述式	記述式／口述式	正答率(%) 松山市教育委員会	愛媛県（公立）	全国（公立）	無解答率(%) 松山市教育委員会	愛媛県（公立）	全国（公立）	問題の難易度	対象生徒数 松山市教育委員会	愛媛県（公立）	全国（公立）	全国との差 正答率（プラスが良い）	無答率（マイナスが良い）
１	注文の場面での店員と客の会話を聞き、客が注文したものを選択する	音声や語彙、表現、文法、言語の働きなどの知識を、聞くことによる実際のコミュニケーションにおいて活用できる技能を身に付けているかどうかをみる	○※					○			○			61.1	57.0	60.2	0.2	0.1	0.2	4	3,548	9,496	839,203	0.9	0.0
２	ショッピングセンターでのアナウンスを聞き、行くべき階を選択する	日常的な話題について、目的に応じて、必要な情報を聞き取ることができるかどうかをみる	ア						○		○			80.1	78.9	78.5	0.2	0.1	0.1	3	1,204	3,274	287,687	1.6	0.1
３	学校見学についての説明を聞き、行くべき場所を選択する	日常的な話題について、自分の置かれた状況などから判断して、必要な情報を聞き取ることができるかどうかをみる	ア						○		○			74.9	74.4	76.0	0.0	0.1	0.1	3	1,177	3,111	275,718	-1.1	-0.1
４	職場体験についての発表を聞き、その後に示される3枚の絵を体験した順になるように選択する	日常的な話題について、話を聞き、概要を捉えることができるかどうかをみる	イ						○		○			41.0	41.5	43.8	0.4	0.5	0.3	4	1,167	3,111	275,798	-2.8	0.1
５	住みやすいまちづくりについての発表を聞き、話し手が最も伝えたいことを選択する	社会的な話題について、話を聞き、要点を捉えることができるかどうかをみる	ウ						○		○			56.5	53.9	55.6	0.3	0.2	0.2	4	3,548	9,496	839,203	0.9	0.1
６	文章を読み、グラフの空所に入る学校行事を選択する	音声や語彙、表現、文法、言語の働きなどの知識を、読むことによる実際のコミュニケーションにおいて活用できる技能を身に付けているかどうかをみる		○※				○			○			68.3	68.2	67.3	1.4	0.9	1.1	3	3,548	9,496	839,203	1.0	0.3
７	誕生日パーティーに関するメールを読み、最も適切な時刻を選択する	日常的な話題について、目的に応じて、必要な情報を読み取ることができるかどうかをみる		ア					○		○			73.1	71.6	72.4	0.1	0.1	0.1	3	1,188	3,232	288,327	0.7	0.0
８	友達からのメッセージを読み、相手が示した条件に合うウェブサイトを選択する	日常的な話題について、自分の置かれた状況などから判断して、必要な情報を読み取ることができるかどうかをみる		ア					○		○			63.5	63.4	63.8	0.0	0.1	0.1	3	1,185	3,138	275,477	-0.3	-0.1
９	物語を読み、物語全体を通した登場人物の気持ちの変化を表したものを選択する	日常的な話題について、短い文章を読み、概要を捉えることができるかどうかをみる		イ					○		○			47.2	47.7	49.0	0.1	0.1	0.1	5	1,175	3,126	275,399	-1.8	0.0
１０（１）	インターネットの使用に関する文章を読み、書き手が最も伝えたいことを選択する	社会的な話題について、短い文章を読み、要点を捉え、考えとその理由を書くことができるかどうかをみる		ウ					○		○			44.6	43.4	47.5	0.3	0.2	0.2	4	3,548	9,496	839,203	-2.9	0.1
１０（２）	インターネットの使用に関して読んだことについて、考えとその理由を書く	社会的な話題について、短い文章を読み、要点を捉え、考えとその理由を書くことができるかどうかをみる					ウ		○				○	21.1	22.3	27.8	20.6	19.2	14.6	5	3,548	9,496	839,203	-6.7	6.0
１１①	与えられた情報に基づいて、留学生の昨日の出来事を説明する英文を書く	音声や語彙、表現、文法、言語の働きなどの知識を、書くことによる実際のコミュニケーションにおいて活用できる技能を身に付けているかどうかをみる					ア	○				○		52.5	51.5	58.9	4.1	3.8	2.5	3	3,548	9,496	839,203	-6.4	1.6
１１②	与えられた情報に基づいて、留学生の昨日の出来事を説明する英文を書く	音声や語彙、表現、文法、言語の働きなどの知識を、書くことによる実際のコミュニケーションにおいて活用できる技能を身に付けているかどうかをみる					ア	○				○		47.7	46.7	52.7	4.9	4.1	3.0	3	3,548	9,496	839,203	-5.0	1.9
１２	中学生になってからの思い出を1つ取り上げ、そこで体験したことと感想を書く	日常的な話題について、事実や自分の考え、気持ちなどを整理し、まとまりのある文章を書くことができるかどうかをみる					イ		○				○	46.4	46.9	47.5	12.1	11.7	8.7	4	1,181	3,213	288,219	-1.1	3.4
１３	留学生との交流会で一緒にしたいことを１つ取り上げ、その理由を書く	日常的な話題について、事実や自分の考え、気持ちなどを整理し、まとまりのある文章を書くことができるかどうかをみる					イ		○				○	42.1	41.8	44.0	14.9	12.8	9.3	4	1,185	3,138	275,477	-1.9	5.6
１４	学校で普段行うことを1つ取り上げ、それについての説明を書く	日常的な話題について、事実や自分の考え、気持ちなどを整理し、まとまりのある文章を書くことができるかどうかをみる					イ		○				○	25.0	24.1	27.8	20.1	20.0	14.2	4	1,182	3,145	275,507	-2.8	5.9

※「学習指導要領の領域」における「○」は、五つの領域別の目標に分類されない「知識及び技能」を示している。

公開問題別調査結果　［英語「話すこと」］　※当日・期間内実施合算

松山市教育委員会ー生徒

・以下の集計値は、４月２４日から５月２９日に実施した調査の結果を集計した値である。
（「全国（国公私立）*」の値は、統計的に抽出され、英語「話すこと」を当日に実施した学校の生徒の結果を集計したもの。）
※正答率欄のイタリック（下線付き）の数値は「予測正答率」を表す。ここでの「予測正答率」とは、貴教育委員会で出題されなかった公開問題について、
全国の解答状況に基づき、貴教育委員会各生徒と同程度の英語４技能で算出したIRTスコアにおいて期待される正答率を指す。
※「予測正答率」や「問題の難易度」を示す対象としない問題については空欄となっている。

問題別集計結果（公開問題）

問題番号	問題の概要	出題の趣旨	学習指導要領の領域					評価の観点			問題形式			正答率(%)			無解答率(%)			問題の難易度	対象生徒数			全国との差	
			(1) 聞くこと	(2) 読むこと	(3) 話すこと［やり取り］	(4) 話すこと［発表］	(5) 書くこと	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度	選択式	短答式／口述式	記述式／口述式	松山市教育委員会	愛媛県（公立）	全国（国公私立）*	松山市教育委員会	愛媛県（公立）	全国（国公私立）*		松山市教育委員会	愛媛県（公立）	全国（国公私立）*	正答率（プラスが良い）	無答率（マイナスが良い）
１５（１）	電話でのやり取りの中で、遊ぶ約束をしている留学生に明日の天気を伝える	音声や語彙、表現、文法、言語の働きなどの知識を、話すことによる実際のコミュニケーションにおいて活用できる技能を身に付けているかどうかをみる			○※			○				○		39.6	40.0	42.3	17.9	16.3	9.2	5	3,374	9,210	46,096	-2.7	8.7
１５（２）ａ	電話でのやり取りの中で、遊ぶ約束をしている留学生からの質問を聞き、明日しようと思っていることを伝える	音声や語彙、表現、文法、言語の働きなどの知識を、話すことによる実際のコミュニケーションにおいて活用できる技能を身に付けているかどうかをみる			○※			○				○		30.4	29.0	33.5	22.3	20.5	12.0	4	1,861	5,111	25,779	-3.1	10.3
１５（２）ｂ	電話でのやり取りの中で、遊ぶ約束をしている留学生に自分の家に来てもらうように依頼する	音声や語彙、表現、文法、言語の働きなどの知識を、話すことによる実際のコミュニケーションにおいて活用できる技能を身に付けているかどうかをみる			○※			○				○		27.8	25.2	32.1	24.7	24.1	13.4	4	1,513	4,099	20,317	-4.3	11.3
１６	留学生と一緒にしたいことを１つ取り上げ、その理由を話す	日常的な話題について、事実や自分の考え、気持ちなどを整理し、まとまりのある内容を話すことができるかどうかをみる				イ			○				○	53.0	52.6	53.5	18.2	17.5	11.3	4	1,131	3,075	15,252	-0.5	6.9
１７	自分の好きな人物を1人取り上げ、好きな理由を話す	日常的な話題について、事実や自分の考え、気持ちなどを整理し、まとまりのある内容を話すことができるかどうかをみる				イ			○				○	41.8	42.7	48.0	21.9	20.6	12.1	4	1,128	3,104	15,577	-6.2	9.8
１８	自分のまちを訪れるのにおすすめの季節を１つ取り上げ、その理由を話す	日常的な話題について、事実や自分の考え、気持ちなどを整理し、まとまりのある内容を話すことができるかどうかをみる				イ			○				○	18.1	18.0	21.5	22.6	19.9	13.5	5	1,115	3,031	15,267	-3.4	9.1
１９	学校生活をよりよくする方法に関して聞いたことについて、考えとその理由を話す	社会的な話題に関して聞いたことについて、考えとその理由を話すことができるかどうかをみる				ウ			○				○	21.8	21.2	25.8	29.6	27.4	17.0	5	3,374	9,210	46,096	-4.0	12.6

※「学習指導要領の領域」における「○」は、五つの領域別の目標に分類されない「知識及び技能」を示している。

調査結果概況　［英語４技能］　※英語「話すこと」は当日・期間内実施合算

松山市教育委員会－生徒

・以下の集計値／グラフは、次の実施日に実施した調査の結果を、生徒を対象として集計した値である。
　４月２０日～４月２４日（英語３技能「聞くこと」「読むこと」「書くこと」）　４月２４日～５月２９日（英語「話すこと」）
　（「全国（国公私立）*」の値は、統計的に抽出され、英語４技能を当日に実施した学校の生徒の結果を集計したもの。）

平均正答数集計値

	生徒数	平均正答数	標準偏差
松山市教育委員会	3,399	4.2 / 9	2.4
愛媛県（公立）	9,107	4.1 / 9	2.5
全国（国公私立）*	46,645	4.5 / 9	2.5

技能別平均正答数集計値

	聞くこと	読むこと・書くこと	話すこと
松山市教育委員会	1.2 / 2	2.4 / 5	0.6 / 2
愛媛県（公立）	1.1 / 2	2.4 / 5	0.6 / 2
全国（国公私立）*	1.2 / 2	2.6 / 5	0.7 / 2

IRTスコア集計値

	平均IRTスコア	標準偏差	パーセンタイル値				
			10%	25%	50%	75%	90%
松山市教育委員会	488	103.5	362	414	487	560	619
愛媛県（公立）	486	108.1	355	410	482	558	622
全国（国公私立）*	499	108.1	363	422	498	575	636

